

仏教とお寺をやさしく解説

さんが

Saiganji Sainomiyako Memorial Park News

2012年3月
第8号
(年4回発行)

春の
お彼岸号

発行部数3千部



西願寺／ご本尊(阿弥陀如来像)

共生・「きょうせい」と「ともいき」／丹羽義昭住職インタビュー
シリーズ浄土宗／根本経典「選択本願念仏集」
実践教室／お念仏をとる

- Q&A 仏教での「縁起」その言葉の意味は？
- 3.11わすれない東日本大震災追悼

チャリティーコンサートのご案内

共生

「きょうせい」と「ともいき」を

考える

昨年、平成二十三年は浄土宗の宗祖法然上人の八〇〇年大遠忌でした。そのメッセージシンボルとして掲げられていたのが「法然共生」の言葉です。この法然共生という言葉にはどのような意味が込められているのでしょうか。丹羽住職にお話を伺いました。



問 近年、共生という言葉が多く使われるようになってきましたね。例えば、キャンソンの企業理念などにも「共生」という言葉が使われていますが、浄土宗では、この共生を「ともいき」と読んでいますが、意味に違いはあるのでしょうか？

住職 違いと言うより、一般に使われる共生の意味も含め、もう一つ大切な意味が加えられているのです。

私たちの生活の中で共生と言うと、共に同じところで生きること、つまり、人と人、人と他の生物、人と自然というように、一つの環境の中で互いが共によりよく生きていくことを表していると思うのですが、浄土宗では、それに加え過去から未来へのいのちの繋がりと「ともいき」の意味も込められているのです。

問 共生は現在の生きている中で横に広がっていく繋がりますが、「ともいき」はそれに代々続いていく先祖、そして自分、未来の子孫たちへ広がる縦の繋がりを加えた言葉ということでしょうか？

住職 はい。自然やあらゆる生物と人の繋がりが、また人と人の絆の大切さは勿論ですが、私たち一人ひとりの「いのち」は自分だけの「いのち」ではなく、両親から、両親はまたそれぞれの親からと脈々と続いてきたたくさん「いのち」の繋がりを経て今ここにあり、そして、これから先の子どもや孫たちに繋がるかけがえのない「いのち」の一つで、この「いのち」の繋がりを「ともいき」と表現しています。ずっと続けてきた「いのち」と、今を生きる私たちと、これから先もずっと続いていく「いのち」とともに生きることなのです。

問 なるほど。そうやって考えると、他人を傷つけることや、自分を傷つけるということは、このずっとずっと続いてきている

繋がりを絶つてしまうことになるのですね。いのちの大切さを実感します。自分のことも大切に思うことができますね。

住職 そうですね。いのちの大切さを伝えていくのも仏教の役割なのだと思います。

問 昨年あった東日本大震災では多くの尊いのが奪われ、残された親族の方々は大変つらい思いをされたと思うのですが、それでも仏教が心の支えとなつた方もいらっしゃるそうです。

住職 そうですか。あの震災からもうじき一年近く経ちますが、心の支援も復興に対する支援もまだまだ足りていない状況が続いていますので、少しでも力になれることを続けていきたいと私も思っています。西願寺では、昨年秋にお月見コンサートとしてチャリティーコンサートを開きましたが、三月十日にも「追悼チャリティーコンサート」を開催することになりました。岩手県大船渡市出身のシンガーソングライターの濱守栄子さんを招いて皆さんからの参加費は義援金として送金させて頂くことになっています。

問 被災地の方と私たちが手を取り合う、また大切な「いのち」を思い共に生きていく、これもまた横の広がり縦の

繋がりの「ともいき」という言葉につながっていくのですね。

ところで、この「ともいき」という言葉は、「法然共生」というロゴで法然上人の八〇〇年大遠忌でのメッセージシンボルとして掲げられていましたが、それよりも前から使われていた言葉なのですか？

住職 はい。言葉の出典は、法然上人が師として仰いだ中国・唐時代の僧の善導大師が示された教えの中に出てくる一文なのですが、大遠忌に向けては平成十三年から記念事業を企画し進められてきました。その際にメッセージシンボルして「法然共生」が策定されたのです。ロゴマークの中に「ともいき」という仮名文字が入っているのですよ。

問 本当ですね！ 気付きませんでした。漢字の中にあるひらがなを見つけるなんて意味とびつたり合っているところも面白いですね。「ともいき」という言葉が親しみやすく感じられました。本日はありがとうございます。



法然共生

宗祖法然上人800年大遠忌

へきとう
【劈頭宣言】
愚者の自覚を

(己を省みて、己のいたらなさを知ろう)

家庭にみ仏の光を (あたたかい家庭を築こう)

社会に慈しみを (優しさに満ちた社会を築こう)

世界に共生を (共に生きる平和な世界を築こう)

浄土宗では、平成23年に迎えた「宗祖法然上人800年大遠忌」に際し平成13年元旦に、法然上人のみ教えを体した「浄土宗21世紀劈頭宣言」を世界に向けて発信しました。これは法然上人のみ教えを解りやすく表現したものです。「法然共生」は、その劈頭宣言の意味をこめたメッセージシンボルです。

シリーズ浄土宗

法然上人の著した浄土宗の根本聖典

「選択本願念仏集」

法然上人の生きた時代は、保元・平治の乱、源平合戦の合い続く末法の世でした。そのような時代背景の中で、全ての人が平等に救われる称名念仏の教えを説いた法然上人の著「選択本願念仏集」はそれまで貴族の身分と富力によって独占されていた仏教を民衆に開放することになった浄土教の歴史の中で画期的な意義を持つものとして残っています。

あらゆる階層の人々に広まった

法然上人の念仏

それまでの厳しい修行を積んで悟りを開いた者にしか得られないとしていた既成仏教に対し、念仏を称えさえすれば阿彌陀仏によって極楽に往生できるといふ法然上人の念仏の教えは、関白や武士、盗人、遊女まであらゆる階層の人々に広まっていきました。法然上人に深く帰依した一人、摂政や関白を務めた九条兼実の懇請により上人の名著となる「選択本願念仏集」の筆を執りました。

極楽往生するためには、

なによりもまず念仏が大切

建久九年（1198）、法然上人が六十六歳の頃、上人に

深く帰依していた九条兼実は、上人の老齢を案じ、宗門の教えをまとめてほしいと要請し、そして撰述されたのが「選択本願念仏集」（「選択集」）です。

選択集は二巻、十六の章からなり、その内容は、念仏の教えを説き示した浄土三部経や阿彌陀仏によって選択された本願念仏に関する要文を集め、それらをとおして仏道修行のすべては称名念仏の一行にあると明らかにしたものです。

冒頭に「南無阿彌陀仏、往生之業、念仏為先」（極楽往生するためには、なによりもまず念仏が大切である）と念仏往生の宗義を表示し、各章ごとに、浄土三部経の経文を引用し、それに対する浄土僧善導の解釈を引き、さらに法然上人自身の考えを述べています。

高弟のみに許された書写

この中で上人は、一切の仏教を聖道門（修行をして悟りをひらく）と浄土門（極楽浄土への往生を目指す）に分け、末法の現在において、すべての人々が平等に救われるのは浄土門だけであるとししました。

称名念仏意外の仏道修行をすべて捨て去るといふ革命的な内容であったため、書写が許されたのは、証空、弁長、幸西、隆寛、親鸞、源智の六人の高弟だけで、上人は、この書を献上した兼実にさえも閲覧後を人目のつかないところに隠し置くようにしていました。

お念仏をとなえる

浄土宗では、念仏を唱えることが教えを理解し、その心を知る基本となっております。

朝夕のおつとめに限らず、家事をしながら、仕事をしながらテレビをみながらなど、いつでもどこでも念仏を唱えながらほかのことをするといふ心構えが大切です。



三つの念仏の唱え方

◆十念…念仏を十回唱えること

「なむあみだぶ、なむあみだぶ…」と四回唱え一息いれてまた四回、九回目は「なむあみだぶつ」と発音し、最後（十回目）にゆつくりと「なむあみだぶ」と唱えます。法要などで導師が「同唱十念」といわれたら参列者一同合掌し、声をそろえて唱えます。大勢での念仏は一人のときとまた違う力強さがあります。参列した場合はぜひ声を出して唱えるようにしましょう。

◆念仏一会

念仏の回数を数えずに、自分の心ゆくまでひたすら何回でも「なむあみだぶ」と唱え続け、最後にゆつくりと念仏を唱えて終わります。

◆三唱礼

おつとめの終わりに節を付けて、念仏を三回唱えて一礼する動作を三回繰り返します。三唱礼は、独自のリズムをつけておこなうので、菩提寺の住職に教えてもらったリカセットテープを聞いて覚えるなどするとよいでしょう。

西願寺 別時念佛会のご案内

西願寺では毎月25日に別時念佛会を開催しています。こころの安らぎともなるお念佛をご一緒にお唱えしませんか？

日時／毎月25日 18時より

場所／西願寺本堂

◆参加申込について

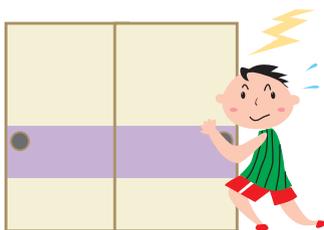
事前にご連絡をお願い致します
当日でも大丈夫です
当日灯明料をご奉納願います

暮らしの中の 仏教語

「がたぴし」

建て付けの悪いふすまなど「ガタピシするなあ」などと言って開けているのを聞いたことはありませんか、これは実はガタピシと音がするからという訳ではないのです。

漢字で書くと「我他彼此」。我他は自分と他人。彼此はあれとこれが対立しているさまをいうのです。そこからものがうまく噛み合わず、衝突や摩擦を生じている状態を「ガタピシ」というようになったのだそうです。



3.11わすれない東日本大震災 追悼チャリティーライブ コンサート

昨年3月11日に起こった東日本大震災の悲劇をわすれない為に、また引き続きの支援をしていけるようにと、岩手県大船渡市出身のシンガーソングライター「HAMA」さんこと濱守栄子さんを招いて追悼チャリティーライブコンサートを開催いたします。参加費はすべて義援金として送金いたします。

是非、ご参加ください。

日時／平成24年3月10日（土）
14：00～受付

場所／西願寺 本堂

参加費／500円

参加申込／参加申込書を記入の上3月9日までにお申込ください。

※電話での申込も大丈夫です

西願寺

TEL. 048-925-1723

FAX. 048-925-1789



各行事の参加申し込み・
お問合せは
西願寺までご連絡ください。

TEL. 048-925-1723

FAX. 048-925-1789



アーティスト紹介

HAMA（濱守栄子）／岩手県大船渡市出身

2009年にアルバム『Let's EAT!』（HAMA）でCDデビューし、2010年8月にシングル『夢時間/キセキ』（HAMA）を発売。楽曲「キセキ」は、両国のゆるキャラ「Jirokids」のイメージソングとなっている。

2011年8月3日に東日本大震災チャリティプロジェクトCD「国道45号線」（濱守栄子）を発売し、岩手県トラック協会のCMソングとなっている。

アーティストの他に「さんりく・大船渡ふるさと大使」などにも就任。

●新年開運七草粥法要報告

去る1月7日、無病息災を祈願した「開運七草粥法要」が開催されました。法要の後、足を運んでくださった皆さんに七草粥が振る舞われました。



●厄払い節分会法要 報告

去る2月3日は、西願寺「厄払い節分会法要」が開催され、関取による豆まきも行われました。多くのご参加ありがとうございました。



■ 彩の都メモリアルパーク ■ 管理事務所 ■ 管理費口座引落としの ■ お知らせ

平成24年度分管理費を下記の日程にて口座より引落としをさせて頂きます。口座の残高が不足している場合引落としが完了いたしませんのでご確認ください。

第1回引落とし H24年3月6日

第2回引落とし H24年4月6日

(第1回で引落としが出来なかった方のみ)

※第1回引落としができなかった場合は、4月6日に再度引落としの手続きをいたします。

Q & A

Q 縁起をかつぐという言葉がありますが、寺社などで見かける「〇〇寺縁起」というのとは意味合いが違うように思います。「縁起」の言葉の意味を教えてください。

A 現在では、「縁起をかつぐ」「縁起がいい(悪い)」など物ごとの吉凶を表す言葉として使われることが多いのですが、「縁起」とはサンスクリット語の「pratiya-samupada」を漢訳した仏教語で、仏教の基本思想を表すことばなのです。「因縁生起」の略で意味は、すべての存在は無数の因と縁(直接の原因とそれを結ぶ縁)によって起こることを示します。サンスクリット語で謂れ、起こりを意味し「〇〇寺縁起」という表現もこの意味で使います。

「お彼岸におはぎ」

お彼岸には、おはぎを供える習慣がありますね。牡丹の季節の春には「ぼた餅」、萩の季節の秋には「お萩」と呼び方を変えますが本当は同じもの。では、なぜお彼岸におはぎ(ぼた餅)を供えるようになったのかご存知ですか？

この習慣の始まりは江戸時代だそう…。

その昔、小豆の赤い色には災難から身を守ると力があると信じられていたそうです。この邪気を祓うという信仰が先祖供養と結びつき、お彼岸や四十九日の忌明けにお供えいただくという風習がひろまったと言われています。



春彼岸会は
3月17日(土)～3月23日(金)です。

■ お便り募集 ■

編集部では皆さまからのお便りを募集しております。仏事の疑問や悩みごと、身近なできごとや日頃感じていること、川柳など、どうぞお気軽にお寄せください。紙面でご紹介させて頂きたいと思っております。また、「さんか」についてのご感想もお待ちしております。

◆ イオ株式会社

西願寺・彩の都メモリアルパーク通信「さんか」編集部

東京都千代田区飯田橋四・七・十一 カクタス飯田橋ビル7F

FAX 03 (6366) 1600

Mail: info@p-coon.net

■ 次号予告

次号は平成二十四年六月発行予定の「お盆詣り」です。



◆編集後記◆

まだ寒い日も多くありますが、そろそろ春の訪れが感じられる季節になりました。春は、自然と心が明るくなり、どこかに出かけたくなりますよね。道端の草花にも、小さな変化をみつけることができそこに生命力を感じずにはられません。

さて、今回、ご住職に伺った「ともいき」という言葉は今まで私たちが使っていた共生よりもっともっと広い意味をもった同じ言葉だということが分かりました。音の響きからか「ともいき」の発音は耳に心地よく親しみやすく感じるのには私だけではないはず。この「ともいき」は、Q&Aでも触れた縁起にもつながり、縁起の考えは「私という存在も、私が先に存在するのではなく無量無数の因縁によって私が成り立っている」というもの、なんだか自分のルーツをたどってみたいくなりました。

発行者

遊馬山一行院 西願寺

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町四三〇番地

電話 〇四八一九二五一一七三

FAX 〇四八一九二五一一七八九

彩の都メモリアルパーク

〒三三四〇一〇〇三三 埼玉県草加市遊馬町二二六〇一九

電話 〇四八一九二二一一四一九四

FAX 〇四八一九二二一一四一九五

企画・編集・製作

西願寺 丹羽義昭住職

イオ株式会社 西願寺・彩の都メモリアルパーク通信

「さんか」編集部